学校番号	４０７

平成 31 年度　芸術〔美術〕科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	美術Ⅰ　（光村図書出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実際に本物を目で見て季節や光、匂いを感じとり「絵画・彫刻」で表現する。
また、目的や機能から考える「デザイン」、伝統的な技術を身につける「工芸」、感じ取ったことを考える「映像メディア表現」「鑑賞」の分野について学習します。
・自分なりの感じ方や見方、表現を深め、さらに違った見方を「鑑賞」で共有することにより、更に広がった感性を高めてほしいです。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c: 創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 グループワークの様子	アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	観察 作品	観察 発言内容 グループワークの様子

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・クロッキー	○ ○			○ ○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 b:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 c:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 d:クロッキーの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	四季のイメージ	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 四季それぞれのイメージに合うように明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。	○ ○	○ ○	○ ○		a:四季のイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品
	様々な技法	【絵画】【デザイン】 ・モダンテクニック 画用紙に様々な道具や教材を使いテーマごとに自由に表現する。	○	○	○		a: 様々な道具や技法に関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構想を練ったり、表現したりしようとしている。 b: 条件や美しさとなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 制作途中の作品 作品

2学期	日本の美術、発見！	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。	○ ○			○ ○	a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、日本及び諸外国の美術文化について理解しようとしている。 d:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や発言内容
	小物入れ	【彫刻】【工芸】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ ・制作 陶芸の粘土を使ってスケッチ通りの形をつくり、削るなどして細部までつくる 切り糸で半分にカットし、丁寧に中をくり抜く。 更に細部をつくり込む。 相互鑑賞	○ ○ ○	○	○ ○	○	a: 表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b:スケッチをもとに目的や機能、美しさなどから創造的な表現の構想を練っている。 c: 粘土、用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 d: よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。	制作の様子 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
	人物クロッキーからの展開	【絵画】【鑑賞】 ・人物クロッキー ・墨やコンテで展開 クロッキー帳に描いてる人物クロッキーを元に、墨やコンテを使って和紙に描く。何枚も重ね、人物のおもしろさを追求する。	○ ○		○		a:人物をよく観察して、主体的に取り組む。 c:墨のにじみやコンテの大胆な線を面白いと感じ、積極的に色々な技法に取り組む。	作品 クロッキー帳 観察

3学期	カゴを編む	【デザイン】【工芸】 ・カゴ制作(練習) ・カゴ制作(本番) 練習ではどのように作られているのか仕組みを知る。 本番では形や色、持ち手をデザインし、使いやすさを考え編む。	○ ○	○ ○	○ ○		a:どのようにつくられているのか興味・関心をもち、 主体的に取り組む。 b:感性や想像力を働かせて、目的や機能、美しさを考える。 c:伝統的な技術を身につけ、表現方法を工夫する。	途中作品 完成作品 活動の様子
	ミニ展覧会	【鑑賞】 ・1年間の作品の中から展示する作品を選択する。 ・作品説明や展覧会名等を考え、キャプション等を作る。 ・ミニ展覧会を開き、展覧会の意図等を説明し合う。	○ ○ ○			○ ○ ○	a:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などに関心を持ち、作品について理解しようとしている。 d:美術作品のよさや美しさ、作者の意図や表現の工夫などを感じ取り、作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	ワークシート 活動の様子

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。